受講者
募集

# 「知の地層」を生みだそう

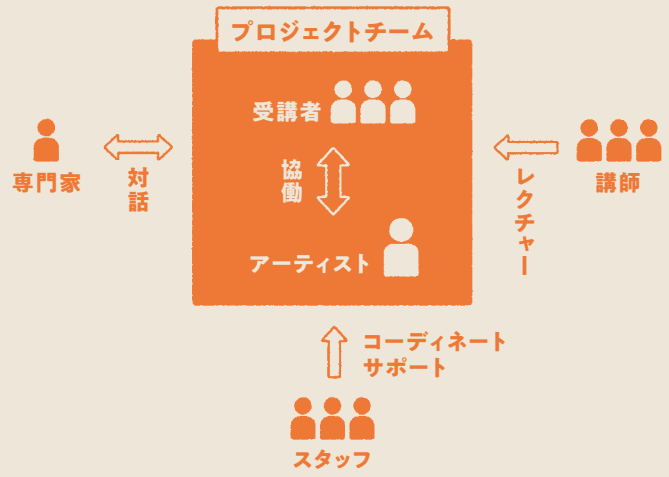
2021.7 → 2022.2

奈良県立大学 実践型アートマネジメント人材育成プログラム

**生きる技術は、**
**あらゆる物事を多角的な視点から**
**読解・表現・共有することの**
**循環と重層から育まれる。**

**地域のコンテクストを緻密に読み解き、**
**領域に捉われない**
**アートプロジェクトを編みあげ、**
**記録・アーカイブすることで未来へとつなぐ。**

**それらのプロセスを通して、**
**生彩な「知の地層」を生みだしていく。**




奈良県立大学「実践型アートマネジメント人材育成プログラムCHISOU」では、アートプロジェクトの実践を通して学び合い、答えのない時代を生きる技術を育みます。読解・表現・共有のプロセスを幾重にも重ねながら、美術や音楽、空間デザインなどの芸術領域を横断するアートプロジェクトを、多角的かつ総合的にマネジメントするための技法を実践的に身につけます。

2021年度は、「感覚」「生態」「時間」「共有空間」をテーマとする4つのプログラムを開講します。各プログラムでは、アーティストと受講者によるプロジェクトチームを編成します。講師によるレクチャーや専門家との対話を通して各テーマについて思考を深めながら、アートプロジェクトを共に企画・制作・実施することで、フィールドリサーチやインタビュー、アーカイブ制作などの技法を修得します。

年齢や経験、学生・社会人など所属を問わず、文化芸術や地域創造に関心のある誰もが受講できるプログラムです。みなさま、奮ってご参加ください。

プログラム 1

# 感覚 「聴く」から創発する身体／コミュニティ

sonihouseによる新しい試み「地奏（ちそう）」と岩田茉莉江による「音さんぽ」のコラボレーションを通して、その瞬間、その場でしか生まれない音から、土地に積み重ねられた層と感覚の広がりを体験するアートプロジェクトを、奈良県明日香村で行います。多領域の専門家と学び合い、フィールドリサーチを重ねて、まち歩きと食、音楽ライブからなるツアー型の公演を企画制作します。

アーティスト

**sonihouse（鶴林万平＋鶴林安奈）**

鶴林万平（音響製作・設計者）1975年大阪府生まれ、奈良県在住。鶴林安奈（グラフィックデザイナー）1980年奈良県生まれ、同在住。12面体スピーカー「scenery」などのオリジナル／オーダースピーカーの設計製作、空間と目的に最適な音響の提案を行う。また音と食のイベント「家宴」の開催など、スピーカーを媒介に「音・人・空間」の豊かな循環を目指している。2021年11月、屋号を「listude」へ変更する。

**岩田茉莉江**
**（音風景研究家／おとたまり主宰）**

1983年奈良県生まれ、同在住。南大東島で音に魅かれ、島民と共に島の音を拾い、島まるごと館で音の展示物「南大東島音たまり」を制作。「海鳴りの聴き方」を軸に島のサウンドスケープ研究を行ってきた経験をもとに、耳を澄まし音を聴くことで身体感覚・想像をひらいていく「音さんぽ」を全国でひらく。

講師

井上さやか（日本文学・日本文化（万葉古代学）／奈良県立万葉文化館指導研究員）、井原縁（環境デザイン学・造園学／奈良県立大学教授）、齋藤精一（クリエイティブディレクター／パノラマティクス主宰）、田中みゆき（キュレーター／プロデューサー）、中川真（音楽学者／大阪市立大学特任教授／奈良県立大学共同研究員）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）

James Muriuki, *Untitled-Runda*

プログラム 2

# 生態

## Life's Manual／天と地の間で生きる技術

長坂有希によるアートプロジェクト「Ethno-Remedies: Bedtime Stories ⇄ A Life's Manual」では、養蜂や薬草栽培など、奈良の土地や気候の中で育まれてきた固有の生きる技術と知恵を活かした仕事に取り組む人々への聞き取りやフィールドリサーチを行い、かれらとの協働を通して物語を編んでいく試みを行います。ジェームズ・ムリウキは、奈良で暮らす人と土との関係性の変遷を探るためのリサーチを、オンラインメディアを活用しながら受講者と連携して行います。

アーティスト

**長坂有希（アーティスト／香港城市大学クリエイティヴ・メディア学科博士課程研究員）**

1980年大阪府生まれ、大阪府・香港在住。リサーチとストーリーテリングを主軸に様々な媒体を用いて作品制作を行う。遭遇した事象の文化的、または歴史的意義や科学的背景の理解をもとに、自らの記憶や体験を介入させ、別々に存在しているように見える事柄をつなぎ、その接点に浮かび上がってくるものを物語として表現する。

**ジェームズ・ムリウキ（アーティスト）**

1977年ケニア生まれ、同在住。ナイロビを拠点にアーティスト及びキュレーターとして活動。写真や映像、サウンド、インスタレーションなどの多様なメディアを用いて、急速に発展する都市空間の変容を捉えた作品は国内外で展示・収蔵されている。

講師

長岡綾子（グラフィックデザイナー）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）、山口未花子（動物人類学／北海道大学准教授）、吉岡幸次（養蜂家／吉岡養蜂園）、吉岡伸次（養蜂家／吉岡養蜂園）、ラナシンハ・ニルマラ（観光社会学／奈良県立大学准教授）　ワークショップ協力｜井上唯（アーティスト）

プログラム 3

# 時間 地を移動し、時間を旅する、新たなツーリズム

山城大督によるアートプロジェクト「TIME TRAVEL NARA」では、今の奈良のまちを逍遥しながら、1400年の積層した歴史の手がかりを見つけ、時間を旅することを試みます。「時間」と「香り」というテーマに通じる多領域の専門家と学び合い、フィールドリサーチや実験を経て、奈良のまちなかでアート作品を展開します。

アーティスト

**山城大督**
**（美術家／映像作家／京都芸術大学専任講師）**

1983年大阪府生まれ、京都府在住。映像の時間概念を空間やプロジェクトへ展開し、その場でしか体験できない「時間」を作品として発表。近年は映像や音、光による上演型インスタレーションを多数制作する。映像ディレクターとしてプロモーションビデオなどの制作を手がけている。

講師

石田理恵（調香家）、梅守志歩（ume, yamazoe支配人）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）、西山厚（仏教史・仏教美術史／半蔵門ミュージアム館長／帝塚山大学客員教授）

「グリーン・マウンテン・カレッジ」（奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良 2018–2019」、2018年）
撮影｜山口健一郎　提供｜奈良市アートプロジェクト実行委員会

「石の菓子店」（奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良 2020–2021」、2020年）
撮影｜衣笠名津美　提供｜奈良市アートプロジェクト実行委員会

プログラム 4

# 共有空間 再生する生活、そして新しい日常へ

多様な表現と価値観が共存し、学び合うための共有空間を創造するアートプロジェクトを実践します。各界の専門家との対話やワークショップ、ディスカッションを重ねて、行政や企業、地域の人々と連携しながら、アーティストと受講者、スタッフが協働して、奈良のまちなかに共有空間をつくりだすことを試みます。

アーティスト

**小山田徹（美術家／京都市立芸術大学教授）**

1961年鹿児島県生まれ、京都府在住。1984年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。主に企画構成、舞台美術を担当し、国内外で数多くの公演に参加。1990年より様々な分野の友人たちと造形施工集団を作り共有空間の開発を行う。

**鈴木文貴**
**（空間設計／やぐゆぐ道具店）**

1978年千葉県生まれ、奈良県在住。インテリアデザイン事務所での勤務を経て、2012年に独立。2015年に東京から奈良へ移住し「やぐゆぐ道具店」を設立。「ものとものがたり」を理念に、インテリアデザイン、プロダクト、インスタレーションの制作を行う。

講師

青木真兵（キュレーター／人文系私設図書館ルチャ・リブロ）、青木海青子（司書／人文系私設図書館ルチャ・リブロ）、梅田直美（社会学／奈良県立大学准教授）、西尾美也（美術家／奈良県立大学准教授）

※諸事情により講師が変更となる場合があります。その場合はウェブサイトやSNSなどで随時お知らせします。

## カリキュラム表

| | プログラム1 感覚 | プログラム2 生態 | プログラム3 時間 | プログラム4 共有空間 |
|---|---|---|---|---|
| 2021年 7月 | 7月4日（日）オリエンテーション | 8月8日（日）オリエンテーション | 7月24日（土）オリエンテーション | 7月17日（土）オリエンテーション |
| | 7月18日（日）レクチャー（中川真） | 8月11日（水・祝）ワークショップ | 7月 31日（土）レクチャー（西山厚） | 7月25日（日）レクチャー（青木真兵、青木海青子） |
| | 8月1日（日）レクチャー（井上さやか） | 9月 アートプロジェクト研究ゼミ | 8月9日（月・祝）レクチャー（梅守志歩） | 8月21日（土）ワークショップ（鈴木文貴） |
| | 8月19日（木）レクチャー（井原縁） | 展覧会構想ミーティング 10–11月 | 9月 ワークショップ（石田理恵） | 9月11日（土）、12日（日）ワークショップ（小山田徹） |
| | 8月28日（土）レクチャー（齋藤精一） | | 展覧会構想ミーティング 10–11月 | 9月25日（土）ワークショップ（鈴木文貴） |
| | 9月20日（月・祝）レクチャー（田中みゆき） | | | 10月16日（土）レクチャー（梅田直美） |
| | 10月7日（木）井原縁研究室との合同ゼミ | 12月 展覧会開催 | | 10月23日（土）ワークショップ（鈴木文貴） |
| | 8–10月 明日香村フィールドリサーチ | | | |
| | 11月「地奏」公演実施 | 12月25日（土）ゲストトーク（山口未花子、吉岡幸次、吉岡伸次） | 12月 展覧会開催 | 11月 共有空間の創造実験 |
| | 12月 ふりかえりミーティング | 12月26日（日）レクチャー（長岡綾子） | 12月 ふりかえりミーティング | 12月 ふりかえりミーティング |
| 2022年 1月 | アーカイブ制作 | 1月 ふりかえりミーティング | アーカイブ制作 | アーカイブ制作 |
| 2月 | | アーカイブ制作 | | |

※諸事情によりイベントの日程が変更になる場合があります。　※日程不記載のイベントについてはアーティストや受講者、関係者と調整の上、決定します。

## 実施期間

2021年7月－2022年2月

講座回数｜各プロジェクトとも全10回程度
（月1～2回程度の実施）

※プログラム1～4の詳細な開催日時や会場については、受講者には個別に随時ご案内します。

## 実施場所

奈良県立大学 CHISOU（チソウ） lab.（ラボ）を中心とする
奈良市内の文化施設

※プログラム1は明日香村での実習が含まれます。
※プログラム2は宇陀市や生駒市など、奈良県内での移動を伴う場合があります。
※プログラム3は山添村でのレクチャーが含まれます。
※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、オンラインシステムでの実施に変更する場合があります。

## 定員

各プログラム7名程度

## 受講料

無料 ※実習場所までの移動に伴う交通費は受講者負担

## 申込方法

以下の必要事項を記入の上、下記「問い合わせ」のメールもしくはウェブサイトより、お申し込みください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤年齢 ⑥所属先 ⑦受講を希望するプログラム名（複数プログラムへの重複応募は可能ですが、受講は一つに限ります）⑧応募動機（文字数自由）

## 応募期限

2021年6月20日（日）

## 選考方法

応募者多数の場合は、応募動機等を参考に
CHISOUスタッフにより受講者を決定します。

※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、レクチャーやミーティングはオンラインシステムでの実施に変更する場合がありますが、対面で参加する意思のある方を優先して選考します。
※選考結果は6月25日（金）までに個別にご連絡します。

※講座の様子はカメラやビデオ等により配信、記録撮影し、ウェブサイトや報告書、広報物等に掲載させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

## 問い合わせ


奈良県立大学 CHISOU lab.
〒630-8258 奈良県奈良市船橋町10 奈良県立大学 地域交流棟3F
Tel 0742-93-5296（平日のみ）
Email arts-management@narapu.ac.jp
Web https://narapu-chisou.jp

@chisou.lab @chisou_lab

## ディレクターズメッセージ

アートマネジメントは、作り手と受け手、作品と社会をつなぐ仕事のことを指します。本プログラムでは、「つなぐ」を口実にして、異なる関心や専門性をもったアーティスト、講師、受講者、スタッフが共に学び合うことを通して、分断された知や技術を生活の中に取り戻し、答えのない時代を生きるための創造性を誰もが身につけられる社会の実現を目指します。

「CHISOU」には、いくつもの意味が込められています。「地層」のように堆積した地域の歴史・文化を掘り起こし、知識や知恵を育み新たな「知層」を生みだして、「地創（地域創造）」へとつなげていく。馳走、地相、血騒、地奏……、他にもいくつものCHISOUが重層的につながってきます。

CHISOUは誰にでも開かれています。過去・現在・未来、あるいは史実と想像性を行き来しながら、あらゆる実験的創造をここから始めてみませんか。

CHISOUディレクター　西尾美也
（美術家／奈良県立大学准教授）


令和3年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
「地域の多層化と共有空間の創造に向けた実践型アートマネジメント人材育成プログラム CHISOU」
主催｜奈良県立大学　運営体制｜ディレクター 西尾美也／プログラムマネージャー 西尾咲子／プログラムコーディネーター 内山幸子／プログラムコーディネーター・アドミニストレーター 飯村有加／プログラムコーディネーター 古江晃也／コミュニケーションデザイナー 山本あつし